

Portal Manager Lite

(2 カラムコア) 操作マニュアル

初心者の方向けガイド

対象バージョン：v0.12.4

はじめに

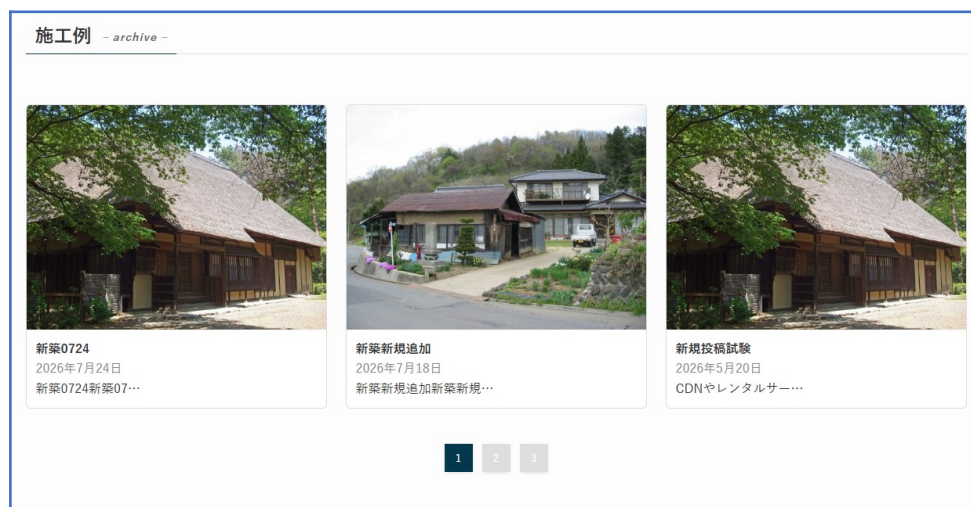
このマニュアルは、WordPress プラグイン「Portal Manager Lite (2 カラムコア)」を初めて使う方向けの操作ガイドです。専門的なプログラムの知識がなくても、管理画面の操作だけで一通り使えるように説明しています。

このプラグインは、投稿や固定ページの本文の横に「サイドバナー（最近の投稿・カテゴリー・月別アーカイブなどを表示する帯）」を、お使いのテーマの種類に関係なく表示するための土台プラグインです。表示のためのショートコードなどを本文に貼り付ける必要はなく、有効化するだけで対象のページに自動的に適用されます。

💡 本文中の「サイドバー」は、WordPress の一般的な「ウィジェットエリア」とは別に、このプラグインが自前で作る「サイドバナー」を指します。テーマ標準のサイドバーとは仕組みが異なります。

第1章 このプラグインでできること

1-1 2カラムレイアウトの自動表示



投稿タイプ（標準の「投稿」や、あとで説明する「投稿タイプ管理」で追加したオリジナルの投稿タイプ）の個別ページ・アーカイブページ（一覧ページ）に、本文とサイドバナーの2カラム

を自動的に表示します。サイドバナーに表示する内容が何もない場合は、サイドバナー自体が表示されず、本文が全幅で表示されます。

1-2 アーカイブ（一覧ページ）のデザイン変更

カテゴリーページや投稿タイプの一覧ページに並ぶ記事カードの見た目を、投稿タイプごとに設定できます。表示タイプは次の4種類です。



表示タイプ	特徴
カード	画像・タイトル・抜粋文などを枠で囲んで一覧表示
カード（枠線なし）	カードと同じ内容で、枠線のない見た目
メディア	小さな画像とタイトルを横並びで表示するシンプルな一覧
1行テキスト	画像なし、テキストのみの一覧

1-3 オリジナルの投稿タイプを追加できる

「投稿タイプ管理」画面から、たとえば「施工例」「お知らせ」のような、標準の「投稿」とは別のオリジナルの投稿タイプを、プログラムの知識なしで追加できます。追加すると専用のカテゴリーも自動的に作られます。

1-4 カテゴリーごとのパスワード保護（制限カテ）

特定のカテゴリーだけをパスワードで保護し、正しいパスワードを入力した人だけが閲覧できるようにする機能です。会員限定ページや、特定の取引先だけに見せたいページなどに使えます。詳しくは第4章で説明します。

第2章 使い始める前の確認事項

このプラグインは「本文+サイドバナー」の中身を作ることに専念しており、ページ全体を何カラムで表示するか（サイドバーを非表示にして全幅にするか）は、お使いのテーマ側の設定に任せる設計です。プラグインを有効化する前に、次の点をテーマ側の設定で確認してください。

1. このプラグインを使いたい投稿タイプ（投稿・固定ページ・オリジナルの投稿タイプ）について、テーマ側の「サイドバーなし」「1カラム」「全幅」といった設定を確認する（設定名称はテーマにより異なります）。

2. テーマ純正のサイドバー機能（ウィジェットエリア）が別に表示されたままになっていないか確認する。純正サイドバーとプラグインのサイドバナーが同時に表示されると、画面が窮屈になったり、崩れて見えることがあります。

💡 お使いのテーマの「サイドバーなし」設定の場所が分からない場合は、担当者にお問い合わせください。

第3章 管理画面の使い方

プラグインを有効化すると、WordPress 管理画面の左メニューに「Portal Manager Lite」という項目が追加されます。この中に3つの設定画面があります。

 Portal Manager Lite 表示設定（投稿タイプ別） 投稿タイプ管理 サイト全体の設定	メニュー名	できること
	表示設定（投稿タイプ別）	アーカイブの見た目、サイドバナーの中身を投稿タイプごとに設定
	投稿タイプ管理	オリジナルの投稿タイプの追加・編集・カテゴリ種別の指定
	サイト全体の設定	使用中のテーマの検知状況の確認、テーマ別の追加調整

メニュー名	できること
表示設定（投稿タイプ別）	アーカイブの見た目、サイドバナーの中身を投稿タイプごとに設定
投稿タイプ管理	オリジナルの投稿タイプの追加・編集・カテゴリ種別の指定
サイト全体の設定	使用中のテーマの検知状況の確認、テーマ別の追加調整

3-1 表示設定（投稿タイプ別）

この画面では、投稿タイプごとにタブが分かれています。登録済みのオリジナルの投稿タイプがある場合はそのタブが並び、何も登録されていない場合は「標準投稿」のタブが表示されます。各タブの中には【アーカイブ】と【サイドバー】の2つの設定グループがあります。

【アーカイブ】グループの設定項目

アーカイブページのデザイン

1行テキスト

カラム数 (最大・PC表示時)

3

画面が狭い場合はコテナクエリで自動的に1カラムに切り替わります (ビューポート基準ではなく実際の表示幅基準)。「1行テキスト」表示の場合は無視されます。

表示件数 (1ページあたり)

3

空欄の場合、WordPress標準の「設定>表示設定>1ページに表示する最大投稿数」 (現在の値: 5件) がそのまま使われます。この投稿タイプだけ件数を変えたい場合のみ入力してください。

表示要素

☒ 画像
☒ 日付
☒ 抜粋
☒ カテゴリ

「1行テキスト」表示の場合、画像・抜粋は表示されません。日付・カテゴリはこのチェックの通りに表示されます。

抜粋の文字数

50

- ・ 表示タイプ: カード／カード (枠線なし) ／メディア／1行テキストから選択
- ・ カラム数: パソコン表示時に何列で並べるか (最大6列)。スマートフォンなど画面が狭い場合は自動的に1列になります。
- ・ 表示要素: 画像・日付・カテゴリ・抜粋文を表示するかどうかをそれぞれチェックボックスで切り替え
- ・ 抜粋の文字数: 一覧に表示する抜粋文の長さ
- ・ 1ページの表示件数: 空欄にすると「設定 → 表示設定」のサイト共通設定に従い、数値を入力するとその投稿タイプだけ件数を上書きできます。

【サイドバー】グループの設定項目

- ・ 最近の投稿・カテゴリ・月別アーカイブの表示有無をチェックボックスで切り替え
- ・ 「最近の投稿」の表示スタイル (テキスト／カード／カード (枠線なし) ／メディア) と、件数・見出しラベル・リンク先などを設定
- ・ 月別アーカイブの形式 (一覧／プルダウン) を選択

 保存ボタンを押すと、直前まで開いていたタブが保持されたまま画面が再表示されます。保存のたびに先頭のタブに戻ってしまうことはありません。

3-2 投稿タイプ管理

この画面から、オリジナルの投稿タイプ (例: 施工例、お知らせ) を追加できます。「投稿タイプ名」「スラッグ (英数字のURL用の名前)」「カテゴリ種別」を入力して保存するだけで、WordPressへの登録・パーマリンクの再構築まで自動的に行われます。

3. 「+ 新規追加」ボタンを押して、新しい行を追加する。
4. 「投稿タイプ名」に日本語の名前 (例: 施工例) を入力する。
5. 「スラッグ」に英数字の名前 (例: jobs) を入力する。
6. 「カテゴリ種別」を「通常カテゴリ」または「制限カテ (パスワード保護)」から選ぶ。
7. 「保存」ボタンを押す。

投稿タイプ名	スラッグ	カテゴリー種別	アーカイブURL	操作
施工例	works	制限カテ（パスワード保護）	https://test.ddm-cosmo.com/plugin_test/works/	削除
NEWS	news	通常カテゴリー	https://test.ddm-cosmo.com/plugin_test/news/	削除

+ 新規追加

保存

△ 注意：保存済みの投稿タイプの「カテゴリー種別」をあとから変更すると、それまで登録していたカテゴリーやパスワードとの結び付きが失われる場合があります。すでに運用中の投稿タイプでは、カテゴリー種別を変更しないことをおすすめします。

この画面では、投稿一覧に「アイキャッチ画像」「最終更新日」の列も自動的に追加されます。アイキャッチ画像の解像度が低い場合（600×450 ピクセル未満）は、一覧に「⚠ 解像度不足」という注意書きが表示されるので、画像の差し替えの目安にしてください。

3-3 サイト全体の設定（テーマ）

対象テーマ

swell（現在検知中のテーマ用）

追加CSS

```

/* ===== SWELL 専用：新築TOPへ戻るボタンの上部マージン調整 ===== */

/* パターンC：直前の画像側から間隔を作る場合（Aが効かない場合の代替） */
.pm-container img:last-of-type,
.pm-layout figure:last-of-type {
    margin-bottom: 20px !important;
}

```

空欄で保存すると、このテーマ用のCSSを削除します。

このテーマ用のCSSを保存

登録済みのテーマ別CSS一覧

現在保存されているテーマ別調整CSSの一覧です。「現在のテーマ」と表示されている行が、上の「追加CSS」欄と同じ内容です。

テーマ	内容	操作
astra	/* Astra対策CSS（テーマスラッグ: astra） 「テーマ別調整CSS」欄にそのまま貼り付けてください。 【今回DevToolsで確認できた本当の原因】 main.site-main の中の .ast-row が、Astraのグリッド型プロレイアウト用の flexコンテナになっている。本来はここに「1記事=1カラム」の子要素	削除

この画面では、現在使用中のテーマがプラグインに正しく認識されているかを確認できます。

- ・ 検知状況：自動検知／手動指定のどちらか、検証済みテーマかどうかが表示されます。
- ・ テーマ名を手動指定：自動検知が実際のテーマと合わない場合にのみ、手動で上書きできます。通常は空欄のままで問題ありません。
- ・ テーマ別調整 CSS：表示崩れが起きた場合に、プラグイン本体を更新せずにその場で CSS を追加できる上級者向けの欄です。

💡 通常の運用では、この画面を操作する必要はほとんどありません。表示が崩れる場合や、テーマを変更した場合にのみ確認してください。

第4章 カテゴリーをパスワードで保護する（制限カテ）

カテゴリーを編集

名前

 サイト上に表示される名前です。

スラッグ

 “スラッグ”はURLに適した形式の名前です。通常はすべて半角小文字で、英数字とハイフンのみが使われます。

親カテゴリー

 階層化するには親のタームを指定します。たとえば「ジャズ」というタームを「ビバップ」や「ビッグバンド」の親として指定します。

説明

 デフォルトではこの説明は目立つ使われ方はしませんが、テーマによっては表示されます。

閲覧パスワード (必須)

 このカテゴリーの記事一覧・個別記事を開覧するために必要なパスワードです。空欄のままでは保存できません。

特定のカテゴリーの記事だけを、知っている人（パスワードを知っている人）だけに公開したい場合に使う機能です。

4-1 設定の流れ

- 「投稿タイプ管理」で、対象の投稿タイプの「カテゴリー種別」を「制限カテ（パスワード保護）」にして保存する。
- 対象の投稿タイプのカテゴリー編集画面を開く（通常のカテゴリー編集画面と同じ場所です）。
- カテゴリーを新規追加、または既存のカテゴリーを編集する。
- 「閲覧パスワード（必須）」の欄に、そのカテゴリー用のパスワードを入力して保存する。

設定が完了すると、そのカテゴリーの一覧ページを開いた閲覧者にパスワード入力画面が表示されます。正しいパスワードを入力すると、そのカテゴリーに含まれる記事を自由に閲覧できるようになります（一度入力すれば、ブラウザを閉じるまで再入力は不要です）。個別記事のURLに直接アクセスした場合は、未認証であればカテゴリーの一覧ページへ自動的に案内されます。

4-2 制限カテの投稿タイプの表示について

カテゴリー種別を「制限カテ」にした投稿タイプは、サイドバナーが常に非表示になり、本文が全幅（1カラム）で表示される仕様になっています。全幅になった分、表示件数を増やしたい場合は「表示設定（投稿タイプ別）」の【アーカイブ】グループにある「カラム数」を増やしてください。

4-3 知っておきたい制限

- ・ 年別・月別のアーカイブページ（日付アーカイブ）は、制限カテの対象外です。
- ・ パスワードは暗号化されずに保存されます。ごく簡易な閲覧制限であり、本格的な会員制サイトの認証としては使わないでください。

第5章 困ったときは

症状	確認すること
プラグインを更新したら設定が反映されていないように見える	プラグイン一覧画面で、プラグインが「有効化」されたままになっているか確認してください。更新のタイミングで無効化されてしまうことがあります。
サイドバナーとテーマ純正のサイドバーが両方表示されて窮屈に見える	テーマ側の「サイドバーなし」「1カラム」設定を確認してください（第2章参照）。
サイドバーを非表示にしたのに本文の幅が広がらない	テーマによっては、本文の幅を広げる設定が別項目になっている場合があります（テーマ側のコンテンツ幅設定を確認してください）。
アーカイブカードの画像が粗く見える	元画像の解像度が低い可能性があります。「投稿タイプ管理」の投稿一覧にある「  解像度不足」の表示を確認し、600×450ピクセル以上の画像に差し替えてください。
見慣れないテーマで表示が崩れる	「サイト全体の設定」画面の状態を確認のうえ、開発担当者にご相談ください。

付録 用語のかんたん解説

用語	意味
サイドバナー	このプラグインが自動で作る、本文の横に表示される帯（最近の投稿・カテゴリー・月別アーカイブなど）
アーカイブ（一覧ページ）	カテゴリーページや投稿タイプの記事一覧ページのこと
投稿タイプ	「投稿」「固定ページ」のほか、このプラグインで追加できる「施工例」「お知らせ」のようなオリジナルの記事の種類
スラッグ	URLに使われる英数字の名前（例：施工例 → jobs）
制限カテ	パスワードを知っている人だけが閲覧できるカテゴリーのこと

以上